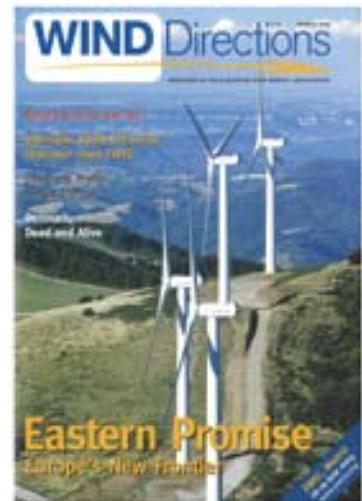
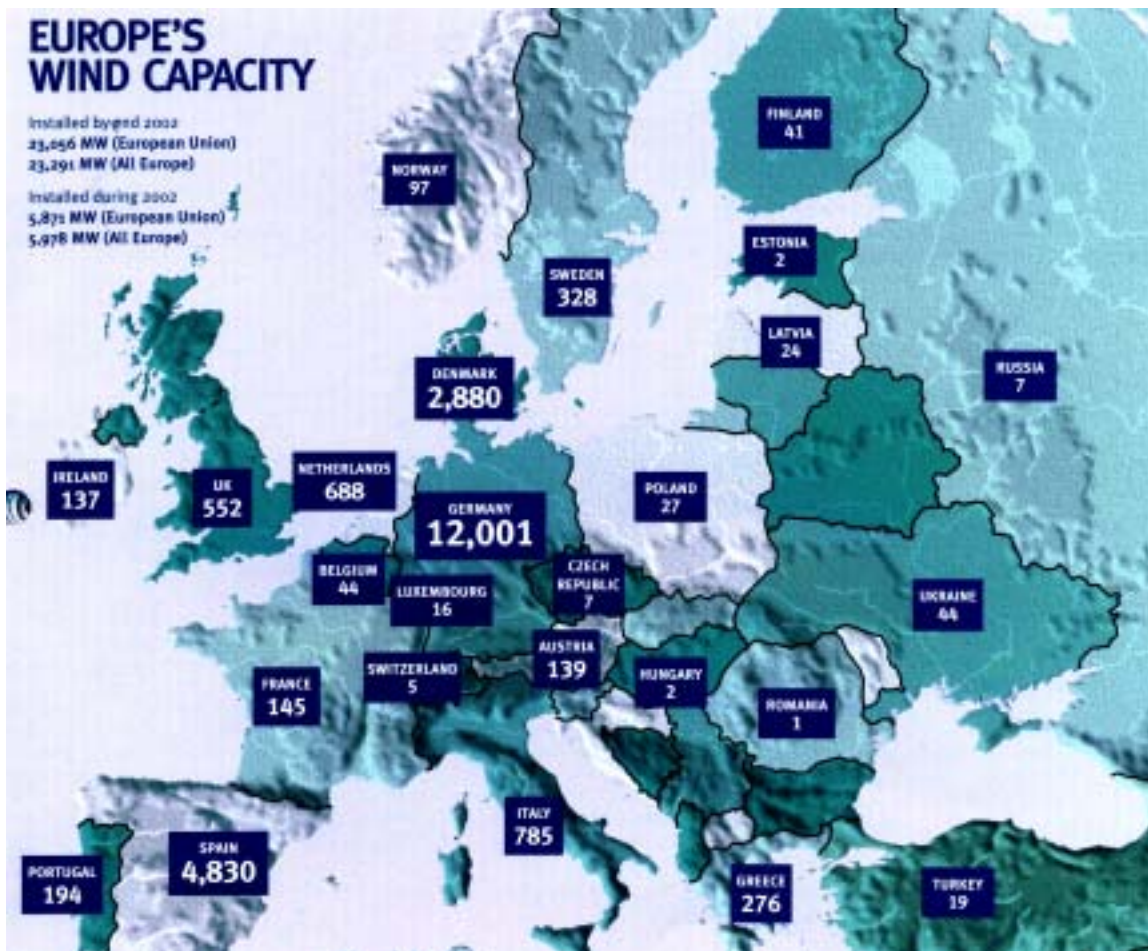


ヨーロッパでの風力発電施設の設備容量

国際部会の海外ニュースの第3回目となります。今回は、欧州風力協会（Europe Wind Energy Association, 略称 EWEA）の機関紙である「Wind Directions」誌3月号に掲載されていましたヨーロッパでの風力発電施設の設備容量の一覧図を紹介します。風力先進国のドイツでは12001MW、スペインでは4830MWの設備容量となっています。2003年3月現在の日本に累積導入量は、約46万kW（460MW）となっていますのでこの容量の多さがわかります。電力買取法があるドイツ、スペインでは、風力発電の導入が多く、RPS法を採用している英国、ベルギー、スウェーデン等は導入量が比較的少ないこともわかります。日本はRPS法を採用しましたが、今後どのようになっていくのでしょうか。



Wind Directions 3月号表紙



ご意見・ご質問は JWPA までお願いします。